

令和3年度第2回成田市保健福祉審議会子ども・子育て支援部会
会議結果概要

1 開催日時

令和4年3月23日（水）10:00～10:40

2 開催場所

成田市役所 6階 大会議室

3 出席者

（委員）

山田部会長、高橋委員、高野委員、前田委員、石橋委員、
中村(亜)委員、古川委員

（事務局）

健康こども部：高橋部長

子育て支援課：篠塚課長、高仲課長補佐、椎名係長、青柳主査、
在田副主査

保育課：宮崎課長、柴田主幹、北見係長、久保木係長、鴻池係長

健康増進課：門井課長、谷下田主幹

社会福祉課：伊藤課長

4 議題

(1) 利用定員の設定について

(2) 子ども・子育て支援に関する現状と取組について

5 配布資料

・資料1 利用定員の設定について

・資料2 子ども・子育て支援に関する現状と取組みについて

6 議事

○議題（1）利用定員の設定について

（「資料1 利用定員の設定について」に基づき事務局から説明。主な質疑
応答は、以下のとおり。）

質疑なし

○議題（2）子ども・子育て支援に関する現状と取組みについて

（「資料2 子ども・子育て支援に関する現状と取組みについて」に基づき

事務局から説明。主な質疑応答は、以下のとおり。)

委員：新型コロナウイルス感染症の影響により、子どもたちもアルコールで手指消毒をする回数が増え、手が荒れていたり、切れていたりすることがあった。幼稚園では父母の会がハンドクリームを用意して対応したところ保護者から好評であり、子どもの手荒れなどを気にしている保護者が多かった。ポンプ式のハンドクリームであれば子どもたちが自分でできるため、先生の手間もかからない。子どもたちの手荒れなどが気になったのが12月から2月くらいまでだったので、その間だけでも市内の幼稚園にポンプ式のハンドクリームを支給することを検討いただきたい。

事務局：現状ではハンドクリームは配布しておらず、配布予定もないが、幼稚園に限らず保育園等も含めて、状況を考慮しながら配布の必要性について検討したい。

事務局：前回の会議で質問のあった児童ホームにおける防災頭巾の配備の件について、市内21か所の内、14か所が過不足なく配備できており、2か所は数量が不足、5か所は配備が無い状況である。不足しているもしくは配備のない児童ホームについては、各児童ホームの父母会と相談しながら、今後、配備を進めていく予定である。

委員：児童ホームを認定こども園に併設する予定はないか。酒々井町では、認定こども園に児童ホームが併設されており、小学校の敷地内の児童ホームに入れなかった場合でもその児童ホームに行くことができる。資料に児童ホームの待機児童数の記載があったが、実際には入れないことから、諦めて申し込みをしていない方もいるため、待機児童数の実態としてはもっと多いはずである。私自身も下の子が生まれたタイミングで上の子が児童ホームを退所したが、その後、改めて入りたいときに、入ることができない状況が続いたため、諦めた。公津の杜小では5年生からでも入ることができるが、平成小学校では3年生から入ることができない。みんなが利用できる状況が望ましいと思うため、認定こども園への児童ホームの併設予定についてお聞きしたい。

事務局：児童ホームについては、恒常的に待機児童が発生している状況である。本市の待機児童対策としては、まず定員を超えた受け入れが行える場合には、できる限り受け入れている。また、学校に余裕教室がある場合には、一時的に活用して対応しているが、それでもなお待機児

童が発生する状況がある場合には、増設し、定員を増やして対応している。今年度、平成小学校の児童ホームに入所できなかった方には、公津の杜小学校の児童ホームを案内している。認定こども園への児童ホームの併設について、市では小学校の敷地内に開設する方向で進めているが、民間施設において、児童ホームの開設相談があれば、待機児童の解消につながるため、進めていきたいと考えている。積極的に児童ホームを整備する事業者の募集は行っていないが、開設を希望する事業者がいる場合には、連携を図り進めていきたい。

委員：11歳以下の子の接種券が届いた。小児は小児科医が打つこととなると思うが、大人と同様に集団接種は検討しているか。接種が可能な個人病院の一覧が同封されていたが、なかなか予約が取れなかったり、子どもの場合は親の都合に左右されたりする面もあるため、幅広く予約をとれる対策をしていただけないか。

事務局：市内に小児科の医師が少ない状況があり、4月に集団接種を実施する予定で進めている。現在は希望する方のみ接種券を送付しているが、今週中に対象者全員に送付予定である。集団接種はボンベルタ内での実施を予定している。